

## （臨床研究に関する公開情報）

渋川医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 母指 CM 関節の健常者の特徴と患者との比較

[研究責任者] 整形外科 加家壁正知

### [研究の背景と目的]

本邦の超高齢化社会における健康寿命の延長のために様々な解析が行われ、整形外科領域で近年の腰痛や変形性膝関節症の有病率は非常に高く、各々5000万人、2500万人に及ぶと言われます。また、母指 CM 関節症の有病者数は 2280 万人とされ、中でも臨床的にも進行している例は 492 万人に及ぶと推定されます。母指は手の機能の中でも特に重要であり、母指の付け根に存在する母指 CM 関節は人間と一部の哺乳類のみ発達した高度かつ複雑な関節で、対象物を摘む握む動作など人間らしい動作において必要不可欠です。母指 CM 関節症に罹患するとこれらの動作が非常に困難となります。日常診療で母指 CM 関節症をレントゲン撮影にて評価しますが、健常者と比較されたデータは多くありません。母指 CM 関節症による変形は早期例で 40 歳頃より発症していくため、変形前の母指 CM 関節を患者と同様に撮影しその特徴を捉えることを目的とし、患者さんとの比較から母指 CM 関節症の発症予防や変形進行の抑制に対する基礎とする見込みです。

### [研究の方法]

両側の母指 CM 関節を 4 方向（母指正面・母指側面・母指と示指のつまみ・筒もち撮影）と手関節 2 方向（正面最大橈屈・正面最大尺屈）を撮影し、レントゲン上の角度や母指の動きを解析します。対象は母指に愁訴なく、自己免疫疾患や母指に外傷歴がなく、かつ変形前の 20 歳～30 歳台の健常者とします。

#### ●比較対象となる患者さん

2013年1月1日から2018年8月31日までに当院で母指CM関節症にて治療された患者さんをランダムに抽出します。

#### ●研究期間：

臨床研究審査委員会承認日～2023年3月31日

#### ●利用するカルテ情報

この調査研究では、通常の診療記録からレントゲン情報を集めます。追加の診療、新たな検査は必要ありません。

●情報の管理

当院のレントゲン保存に準じます。

保管期間終了後に、情報を廃棄する場合は、個人情報に十分注意して破棄します。

[研究者]加家壁正知（整形外科）田村剛志（リハビリテーション科）

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構渋川医療センター

整形外科 加家壁正知

電話 0279-23-1010 FAX 0279-23-1011